



TITLE:

會告 : 黃道光臨時觀測所開設さる (プラネタリウム特輯)

AUTHOR(S):

CITATION:

會告 : 黃道光臨時觀測所開設さる (プラネタリウム特輯). 天界 1937,
17(191): 210-210

ISSUE DATE:

1937-02-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167419>

RIGHT:

會 告

黃道光臨時觀測所開設さる

既報、黃道光の觀測の國際的中央局のため臨時觀測所が愈々、廣島縣沼隈郡瀬戸村に開設され、去る 2 月 11 日より黃道光課長荒木健兒氏及び會員本田實氏(鳥取縣)によつて同所で觀測が開始された。

因みに、今後黃道光觀測報告は勿論、觀測に關する問合せや、觀測用星圖、用紙の請求等は何れも同所に宛て通知される様希望する。

歴史研究課の創設 (課員募集)

從來、天文學の歴史的資料の發見や紹介や研究など、其の都度「天界」誌上にも發表し、貴重な經緯を踏んで來たが、近年益々興味ある資料が續々發見されるに鑑み、天文史上への貢獻を目指して、今度、本會に歴史研究課を新設し、1. 天文に關係あるあらゆる資料の蒐集と發見に努め、2. 分類や系統や整理などの研究を行ひ、3. 誌上を通じて發表し、4. 天文學の普及を檢討し、5. 知識の向上を計る。等を行ふことゝなつた。(便宜上、觀測部に加へられてゐる)。既に上記のやうな研究は B. A. A. (大英天文協會)に於いても實行せられ、興味ある活動を見て居る。

全國の會員諸氏よ!! 有志者は奮つて本課への加入を薦めたい!! そして天文資料を所有せられる方は本課のため、研究資料を提供せられたい。又、資料の發見者は直ちに本課宛御通知を煩したい。

昭和 12 年 2 月

東亞天文協會 歴史研究課

編輯後記

大阪市四ツ橋の、市立電氣科學館に東洋唯一のプラネタリウムが出來上り、愈々本月 13 日より一般公開の運びとなつた。天文學の普及に最も有效な之の設備の完成は、吾人の待望久きものであつた。此處に、之の完成を記念して本號には、山本博士並びに小島科學館長に御願ひして、プラネタリウムの記事を書ける事とした。之等の記事と表紙の寫眞に依つて、先づ豫備知識を得、而る後に實地にプラネタリウムを見られん事を希望する。尚ほ、會員には一般公開に先立つて見學する特權が與へられた。(臨時大會の會報を参照)

本年の日食には花山天文臺より觀測隊が派遣される。山本博士の日食の記事を熟讀され度い。

尚ほ、昨年の總會以來改正決定された會則、役員等凡て會報の頁に掲載した。之れに依つて本會の内容を知られん事を望む。(星見)